

十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進委員会

地域 十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区です。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施し、高層化により人口も増加しました。ヒルタウンの名称のとおり、丘陵状の地形に計画的に整備されています。

また、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組の一つとして、民間活力の導入や市有地の有効活用等について検討されています。

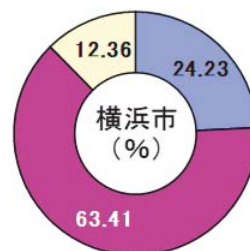
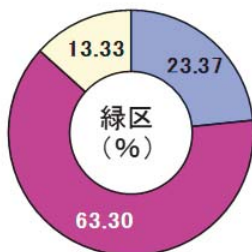
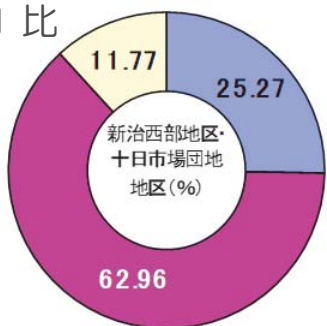
<主な関連施設>

- 最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）
- 震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校
- 地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口> 人口比

平成30年(2018年)9月末

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



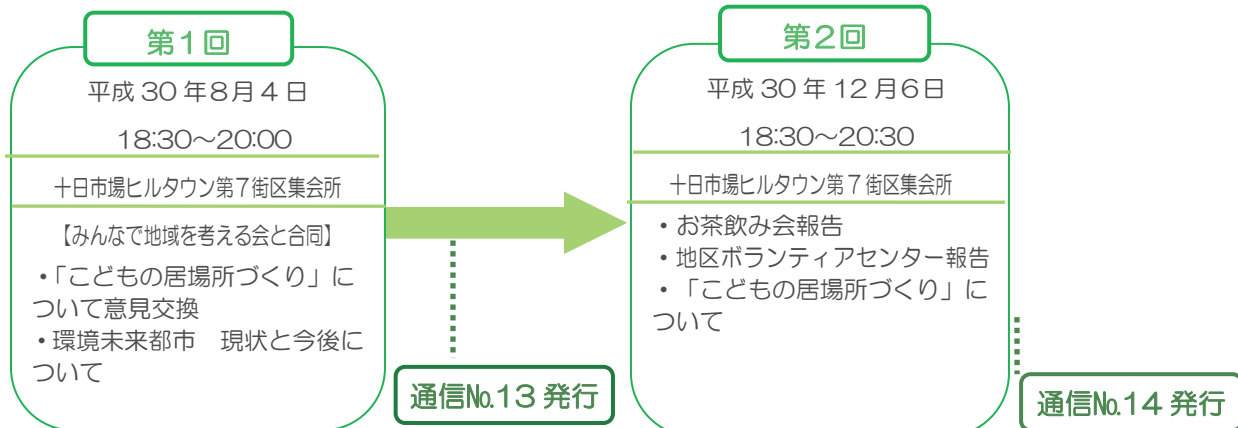
75歳~	2,749人
65~74歳	2,126人
15~64歳	12,149人
6~14歳	1,466人
0~5歳	805人
合計	19,295人

75歳~	20,959人
65~74歳	21,270人
15~64歳	114,390人
6~14歳	15,061人
0~5歳	9,037人
合計	180,717人

75歳~	454,366人
65~74歳	452,709人
15~64歳	2,374,255人
6~14歳	285,140人
0~5歳	177,762人
合計	3,744,232人

地区別計画推進策定委員会の開催

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成30年度地区別計画推進状況



十日市場団地地区



**地域が団結していつまでも支えあえる
十日市場団地を目指します！**

十日市場団地地区では、『いつまでも支えあえる十日市場団地』を目指してまちづくりに取り組んでいます。

**「十日市場団地 お茶飲み会」
が6周年を迎えました！**



平成30年12月に6周年を迎えた「十日市場団地お茶飲み会」は、『一人ぼっちにさせない』を合言葉に、毎月開催しています。8月・12月には、近隣保育園の園児も歌や踊りを披露し、多世代交流の場にもなっている憩いの会です。



(写真：「お茶飲み会」の様子)



(「お茶飲み会」の貼り紙)

こどもの居場所「こども村」オープン！

新治西部地区と合同で検討を続けていた、「こどもの居場所」が、十日市場地域ケアプラザで12月にオープン。多世代参加・交流型の居場所としてこどもの居場所づくりだけに留まらず、地域住民の交流の場として検討・整備を続けます。近年、子どもに関する“子どもの生活力低下”“朝食を食べていない児童”“こども食堂”などの話題も多く、地域でも関心が高まってきているところでした。

そのような中で、“子ども”を焦点に、地域の関係者が参加する『十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会』が立ち上がり、委員会での検討を経て、ついに12月1日にオープニングを迎えました。当日は十日市場地域ケアプラザを会場とし、こどもが40名超、大人が保護者や関係者等で40名超と大賑わいでした！



これからも団結して地域の「つながり」を作っていきます！

十日市場団地地区別計画推進委員会

十日市場団地地区別計画推進委員会
平成30年10月発行 第3期 No.6 (通算No.15)



十日市場団地 地区別計画推進委員会通信



平成30年8月4日(土)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「平成30年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。なお今回は、「みんなで地域を考える会」との合同開催となりました。

当日は、橋川委員長のあいさつで始まり、平成28年度から始まった第3期みどりのわ・ささえ愛プランの概要についてあらためて確認しました。そして、十日市場団地地区地区別計画の推進に向けて「子どもたちの見守りの充実」を題材に、4つのグループに分かれて話し合いを行いました。



みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。



←プランの情報は動画でも紹介中。「みどりのわ 動画」で検索。

第3期 十日市場団地地区 地区別計画

- 目標1：地域が団結して、「つながり」を作り あらゆる世代の交流を広げよう
- 目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう
- 目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

【平成30年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★橋川茂子、宮本増穂、百武節代、相田泰喜、古田三郎、川村武子、羽鳥節子、石川多美、大村律子、長崎清美、山内ユミ子、尾崎敏明、堀川智子、鈴木雄二、塙高子、田中正人、笠原紀代子、平良美枝子、古屋紀美代、川隅やす子、金谷エイ子、池袋タツ、白田邦彦、平井仁女、山口等、栗原保恵、本田富男、八木範夫、大木巧、三好真理子、白石武、能登富士子
(敬称略、順不同、★：委員長)

※ 今回は「みんなで地域を考える会」と合同開催のため、単位自治会長・ボランティアセンター関係者の皆さまにもご出席いただきました！

★★ 裏面では、委員会での意見交換の内容についてご紹介いたします！ ★★

★探しています！★

十日市場団地連合自治会の機関紙「住連通信」が、平成29年9月号で500号を迎えました！地域の歴史を知るために貴重な資料ですが、バックナンバーの多くが欠けてしまっています。平成3年3月(No.185)以前の「通信」を保存されている方がいたら、裏面の〈連絡先〉までご連絡ください！

3つの取組の紹介と十日市場小学校 大木校長先生より、教職員向けに行った「こどもの居場所づくり」に関するアンケート結果の報告がありました！

1 お茶飲み会の現状と課題～もっと世代間交流につなげたい 橋川委員長

お茶飲み会も今年の12月で6周年を迎えます。参加者・スタッフ共に楽しんで開催しています。今後は活動の幅を広げ、世代交流の場、こどもの居場所としても活用していきたいと考えています。開催日についても、より幅広い層を取り込むために、9月と10月は試行的に土曜日開催を実施します。



橋川委員長

2 こどもの居場所づくり

十日市場地域ケアプラザ 樋口 地域活動交流コーディネーター

十日市場団地地区・新治西部地区で子どもの支援に関わる関係者が会する協議体として設立された、十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会について説明がありました。地域特性を活かした、“多世代参加・交流型”の「こどもの居場所」の設置を目指します。

3 持続可能な住宅地推進プロジェクトについて 建築局住宅再生化粕谷係長

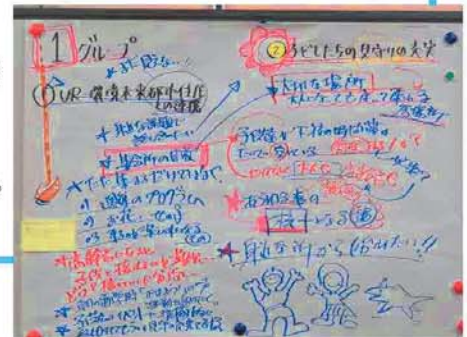
開発の進む20～22街区について進捗等を報告。持続可能な魅力あるまちづくりを目指す取り組みについて説明がありました。周辺の自治会町内会や企業、行政と協力しながら世代間交流や地域交流を図りたいとのことでした。

意見交換で出た意見の一部をご紹介します！



～『こどもの居場所づくり』をテーマに、多くの意見が出されました～

- ・大人でも挨拶する人が減っている。こどもの手本であるべき大人の意識を変えないといけな
いと感じている。身近なところから始めたい！
- ・各自治会の子供会を充実させるために、老人会と合同で開催してはどうか。
- ・子どもが学校から帰る時間から、親が仕事から帰る時間まで、子どもが安心して過ごせる場
所を作ってはどうか。団地の集会場で将棋等ができるようになれば、ゲームセンターに行く
子どもが減るだろうし、地域住民と交流ができる場にもなる。勉強を教える場になればより良いのではないか。
- ・夜間に見かける等、気になる子どもについてもまずは挨拶
から始めたい。挨拶から徐々に良い関係を築きたい。
- ・子どもは叱るだけでなく、優しい関係になることも大事。
また、気になる子については学校に連絡してみるのもいい。
- ・地域全体で子どもを見守りたい。



みんなで力を合わせて
いつでも支えあえる十日市場団地
を目指しましょう！

次回の委員会は
平成30年12月頃開催予定です！



<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
事務局 緑区こども家庭支援課内
TEL：930-2332



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成31年2月発行 第3期No.6 (通算No.16)



十日市場団地 地区別計画推進委員会通信

平成30年12月6日(木)十日市場ヒルトウン第7街区集会所において「平成30年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。当日は、橋川委員長のあいさつで始まり、平成28年度から始まった第3期みどりのわ・ささえ愛プランの概要について改めて確認しました。そして、十日市場団地地区地区別計画の推進に向けて「こどもの居場所づくり」をテーマに、4つのグループに分かれて話し合いを行いました。



みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。



第3期 十日市場団地地区 地区別計画

- 目標1：地域が団結して、「つながり」を作り あらゆる世代の交流を広げよう
- 目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう
- 目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

【平成30年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★橋川茂子、宮本増穂、百武節代、相田泰喜、古田三郎、川村武子、羽鳥節子、石川多美、大村律子、長崎清美、山内ユミ子、尾崎敬明、堀川智子、鈴木雄二、埴高子、田中正人、笠原紀代子、平良美枝子、古屋紀美代、川隅やす子、金谷エイ子、池袋タツ、白田邦彦、平井仁女、山口等、栗原保恵、本田富男、八木範夫、大木巧、三好眞理子、白石武、能登富士子
(敬称略、順不同、★：委員長)

☆☆ 裏面では、委員会での意見交換の内容についてご紹介いたします！ ☆☆

★探しています！★

十日市場団地連合自治会の機関紙「住連通信」が、平成29年9月号で500号を迎えました！地域の歴史を知るために貴重な資料ですが、バックナンバーの多くが欠けてしまっています。平成3年3月(No.185)以前の「通信」を保存されている方がいたら、裏面の〈連絡先〉までご連絡ください！

3つの取組報告・紹介がありました！

1

お茶飲み会の現状について 橋川委員長

9月10月は試行的に土曜開催としたが、予想より集客できた。一方で小学生の集客は期待した程ではなかったため、子供会を通じて広報する等の工夫が必要と感じました。昨年ののぼり旗に加え、今年は案内ポスターを新調しました。お茶飲み会は6周年を迎えました。少なくとも30名の参加があり、参加者・スタッフ共に楽しんで開催しています。

2

地区ボランティアセンターの近況について 橋川委員長

4人世話役がいて、交代で電話で相談を受けています。内容はスマホの操作方法から掃除の相談までいろいろです。高齢者のニーズ把握にも一役買っています。

「こども村」の様子▶



3

こどもの居場所づくりについて 健康福祉局生活支援課 東海係長

以前から検討を続けていたこどもの居場所づくりについて、12月1日にオープニングイベントを開催し、名称も「こども村」に決定しました。沢山のこどもが来場し、評判も上々でした。当日の様子はタウンニュースにも掲載されました。今後は更に地域に根差した、多世代参加・交流型のこどもの居場所とするべく、検討を続けます。

意見交換で出た意見の一部をご紹介します！



～『こどもの居場所づくり』をテーマに、多くの意見が出されました～

- ・あやとり、編み物の名人を募集して、名人バンクを設立し、こどもたちに教えるようにしたら、お年寄りもやる気がでて、認知症予防にもなるのではないかな。
- ・中学生が小学生に勉強を教える場を作ってはどうか。中学生側も教えることで勉強になるし、自信もつくのではないかな。
- ・ボランティアへは少額でもいいので謝礼があった方が良い。
- ・こども村内で使える通貨を作ってはどうか。手伝い等をする毎に通貨で謝礼を支払い、駄菓子等に交換できる仕組みを作れば、こどもも積極的に手伝いに参加できる。
- ・ゲームにも工夫が必要。花札はルールが分かる子がいない。百人一首は中学生になると大会があるので、練習が出来ていいかもしれない。UNO等こどもなら誰でも知っている遊びと、メンコ等のように簡単で昔からある遊びの両方があると良い。
- ・定着させるなら、実施回数を増やすと良いのでは。



▲委員会の様子

みんなで力を合わせて

いつでも支えあえる十日市場団地

を目指しましょう！



<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
事務局 緑区こども家庭支援課内
TEL：930-2332